

港湾空港部の新体制のお知らせ

港湾計画課の新体制

港湾の整備、利用及び保全並びに航路の整備及び保全に関する計画、事業計画に関する業務等を所掌しています。

(代表) : 011-709-2311
(直通) : 011-709-2137
FAX : 011-709-2147

港湾計画課長 箕作 幸治
(内5611)

課付
白熊 良平
(内5649)

港湾企画官
星 道太
(内5612)

課長補佐
中道 隆司
(内5613)

課長補佐 大山 裕司
(内5614)

総務・広報
関連業務

総務係長
上野 裕司
(内5610)

予算
関連業務

事業計画係長
城 敏也
(内5616)

計画第2係員
堀田 雅洋
(内5616)

計画
関連業務

港湾計画専門官
大谷 直輝
(内5635)

計画第1係員
合田 明弘
(内5635)

計画第1係員
太田 有祐
(内5567)

評価
関連業務

港湾計画専門官
伊藤 雅和
(内5666)

計画第1係長
竹部 公章
(内5618)

調査・振興
関連業務

港湾技術専門官
阿部 寿
(内5615)

調査係員 村上 嘉唯
(内5617)

調査係員 宇佐美 悠
(内5617)

港湾建設課の新体制

直轄港湾の工事・業務における入札契約、事故防止対策や生産性向上（ICT（BIM/CIM）活用含む）とともに、構造設計や災害復旧事業を所掌しています。

(代表) : 011-709-2311
(直通) : 011-700-6769
FAX : 011-709-2147

港湾建設課長 早川 哲也
(内5621)

技術業務

事務業務

負担金担当

課長補佐
池田 敬
(内5623)

予算管理担当

係長
西口 剛内
(内5620)

課長補佐 早川 篤
(内5625)

直轄事業実施・
災害復旧担当

港湾技術専門官
海津 博行
(内5624)

係員
石田 大和
(内5624)

入札契約・施工基準・
工事安全担当

係長
吉田 勝則
(内5626)

係員
坂本 進
(内5626)

開発専門官 岩田 真
(内5627)

技術基準・
技術開発担当

係長
水口 陽介
(内5628)

係員
亀尾 実愛
(内5648)

係員
平尾 隆朗
(内5648)



港湾空港部の新体制のお知らせ

港湾行政課の新体制

国有港湾施設の管理手続きや実地監査、港湾関係補助事業及び交付金事業の交付決定の他、港湾の施設の維持管理に関する業務等を所掌しています。



(代表) : 011-709-2311
(直通) : 011-709-2321
FAX : 011-709-2147

港湾行政課長 上田 裕章
(内5641)

港湾管理官 川村 晃輝
(内5659)

※港湾管理

課長補佐 北野 恵一
(内5642)

※維持保全・助成

港湾管理

上席港湾管理専門官
佐光 敦 (担当：函館)
(内5667)

港湾管理専門官
(担当：小樽、室蘭、釧路)
戸出 成信
(内5667)

港湾管理専門官
(担当：網走、留萌、稚内)
櫻庭 悠輔
(内5619)

維持保全・助成

上席港湾管理専門官
梅田 聡之
(内5644)

課員
阿部 奈緒美
(内5644)

港湾管理専門官
有間 誠一
(内5643)
※交付金事務窓口

空港・防災課の新体制

国が設置・管理する空港の整備及び災害復旧に関する事務、港湾・空港に関する防災・危機管理対策、港湾の保安対策業務等を所掌しています。



(代表) : 011-709-2311
(直通) : 011-700-6773
FAX : 011-709-2147

空港・防災課長 麻山 健太郎
(内5631)

港湾保安管理官 大黒 俊一
(内5622)

課長補佐 藤田 謙二
(内5632)



港湾保安業務

港湾保安専門官
櫻井 真二
(内5602)

水際対策係長
田島 康宏
(内5636)



港湾防災業務

空港調査・防災専門官
山口 和良
(内5668)

港湾機能継続専門官
寺田 卓史
(内5669)



空港事業・空港防災業務

空港調査・防災専門官
加藤 幸輝
(内5645)

空港係長
大久保 智史
(内5633)

空港係員
恵平 寿輝
(内5633)



予算管理担当

工事予算係長
和田 由香里
(内5630)



ウポポイ
NATIONAL AIR MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間

苫小牧港管理組合
からの投稿です

36

令和3年4月号
北海道開発局 港湾空港部 港湾行政課
〒060-8511 札幌市北区北8条西2丁目
札幌第一合同庁舎14階

苫小牧漁協ホッキ貝ドライブスルー販売会開催！

水揚量20年連続日本一！！ 売切れ御免！！
新型コロナウイルスの影響で消費が激減…
それならパッと売っちゃえ！～漁師の心意気～
苫小牧産 ホッキ貝
(涙の)ドライブスルー販売
令和3年2月27日(土)
AM9:30～12:00まで
1,000箱限定 (車1台につき最大5箱まで)
ホッキガイ10個入 1,500円(税込)
(発泡箱入、保冷剤付)
販売場所：苫小牧漁業協同組合 浜の交流館
お問い合わせ：0144-35-0111
主催／苫小牧漁業協同組合・冬ホッキ漁業部会 後援／苫小牧市
お問い合わせ／苫小牧漁業協同組合(電話0144-35-0111)
合わせ 〒053-0012 苫小牧市汐見町1丁目1番13号

令和3年2月27日に苫小牧港西港にて、苫小牧漁業協同組合主催による特産品の『ホッキ貝』の販売会が開催されました。

ホッキ貝10個入りで(箱代・保冷剤代込)税込1,500円と特別価格で提供され、(先着1,000箱限定で販売)500組以上の来場があり、開始から1時間ほどで完売するなど、想定を上回る大盛況でした。

当日は飛沫感染防止対策を徹底するためドライブスルーのみの販売とし、地元漁師さんを中心に、漁協職員と併せて総勢約50名の総動員体制で販売や交通整理などの対応に奔走いたしました。

水産物を取り巻く環境としては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、全国の飲食店や宿泊施設を中心に消費が大きく低迷しており、今後は巣ごもり需要への対応が大きなポイントとなってきます。

そのため、あらためて個人消費の拡大が重要で、今回の取り組みをきっかけに消費の喚起に繋がればと考え、PRを兼ねて企画されました。

《苫小牧漁協コメント》

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、緊急事態宣言や外出自粛などで、従来の流通に大きく変化が起きました。その結果、生産者の漁業収入が減少し、採算が合わない状況もありながらも、漁業者は食料安定供給への責任を抱え、日々、苦労しながら操業をしています。

漁協としても久しぶりのイベント開催となり、コロナ禍に対応すべく感染拡大防止対策を講じての開催となりましたが、想像以上の来場数に正直驚くとともに苫小牧産ホッキ貝の人気ぶりに勇気をいただきました。

今後もたくさんの方に『苫小牧産ホッキ貝』を応援いただき、水揚量日本一に恥じないよう、チャレンジを続けて参りますので、皆様のご購入をお待ちしています！

※苫小牧産ホッキ貝の購入を希望される方は北海道ぎょれんネットショップにて販売しておりますので、検索願います☆

URL→ <https://www.gyoren.net/i/11d2801cp>



【ホッキ貝ドライブスルー販売状況】



苫小牧港がESIプログラムに参加します！ ～環境に配慮した船舶に対するインセンティブ制度を開始～

苫小牧港は、国際港湾協会（IAPH）主導のもと世界の港湾が環境対策促進プログラムとして取り組む**ESIプログラムに参加**します。

国内外においてカーボンニュートラルに向けた動きが加速する中、アジア側の最東端に位置する北日本最大の港湾として、**海運からのGHG（温室効果ガス）の一層の削減を目指すべく、また環境に配慮した船舶の寄港促進を図るためインセンティブ制度を開始**します。

OESI（Environmental Ship Index）プログラム概要

ESIプログラムとは、国際海事機関（IMO）が定める船舶からの排気ガスに関する規制基準よりも環境性能に優れた船舶に対して入港料減免等のインセンティブを与える環境対策促進プログラムであり、船社による自主的な環境への取り組みを促す枠組みであることが特徴です。

IAPHが、船舶からの大気汚染物質（NO_x、SO_x、CO₂）等の環境負荷の排出性能を船舶ごとに評価し、環境船舶指数（ESIスコア）として認証します。

参加港湾等はESIスコアに応じ、入港料の減免などのインセンティブを与えることで環境負荷の少ない船舶の入港を促進し、港湾地域での大気環境の改善や地球規模でのGHG削減等を図っていきます。

認証船舶数：8,426隻（2020年7月1日現在）

参加港湾等：58団体（2020年7月1日現在）

アジアの参加港湾：東京港、横浜港、釜山港、蔚山港



詳細については、ESI Portal

(<https://www.environmentalshipindex.org/>) を参照してください。

○インセンティブ内容

ESIスコア値30以上の船舶を対象として入港料15%を減免します。

期間は**2021年4月1日から2026年3月31日までの5年間を予定**しています。

なお、インセンティブ内容（対象船、減免率、期間）は状況により見直しされる場合があります。

<お問合せ先>

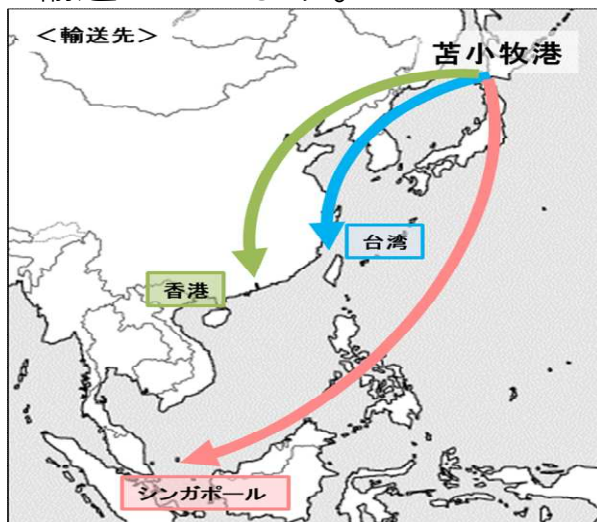
苫小牧港管理組合政策推進課 担当：早坂、三瓶 TEL:0144-34-5903

令和3年度 苫小牧港小口混載コンテナ輸送支援事業について

苫小牧港利用促進協議会では、小口混載コンテナ輸送支援事業として、北海道産農水産品を対象に、リーファーコンテナを活用した小口混載輸送サービスを行う貨物利用運送事業者に対し、コンテナ内の空きスペースに係る輸送料金の支援を、令和元年度から実施しています。

これまで、小ロットであるため輸出に至らなかった貨物を集積し、定期的に海上輸送することで、適正価格で安定した輸送サービスの確立を目指しています。

令和3年度は、苫小牧港から台湾・シンガポール・香港へ道産食品や加工品をリーファーコンテナで毎月1回以上の頻度で輸送いたします。



＜お問合せ先＞

- ・事業内容・スケジュール等の詳細について

輸送先：台湾
ナラサキスタックス株式会社 札幌支店 国際営業部 国際営業課
TEL：011-261-7889
HP：https://www.narasaki-stax.co.jp/

輸送先：シンガポール
苫小牧埠頭株式会社 港運事業部 国際業務課
TEL：0144-57-6991
HP：http://www.tomafu.co.jp/

輸送先：香港
株式会社栗林商会 苫小牧支社 コンテナ営業課
TEL：0144-32-5161
HP：http://www.kurinet.co.jp/

- ・支援制度について
苫小牧港利用促進協議会 事務局
苫小牧港管理組合政策推進課 担当：早坂、三瓶 TEL:0144-34-5903